

# 区域設定について(案)

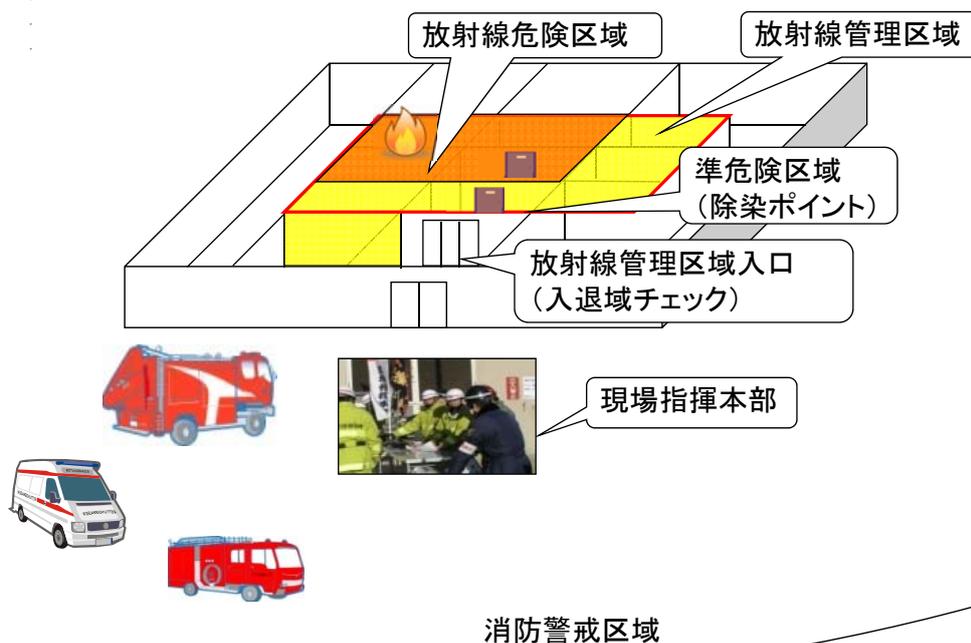
資料3

## <放射線危険区域の設定基準>

原子力施設	RI施設	輸送
		(1) 暫定措置 A型・B型輸送物については、暫定的に15mの範囲
(1) 現場に施設関係者がいる場合  施設関係者の情報を得て協議のうえ定めること。	(1) 現場に施設関係者がいる場合  施設関係者の情報を得て協議のうえ定めること。	(2)現場に施設関係者がいる場合  輸送関係者からの情報を得て協議のうえ定めること。
(2)現場に施設関係者がいない場合  ① 0.5mSv/h以上の放射線が検出される区域 ② 火災発生時に放射性物質の飛散が認められる又は予想される区域 ③ 煙、流水等で汚染が認められ又は予想される区域	(2)現場に施設関係者がいない場合  ① 0.5mSv/h以上の放射線が検出される区域 ② 火災発生時に放射性物質の飛散が認められる又は予想される区域 ③ 煙、流水等で汚染が認められ又は予想される区域	(3)現場に施設関係者がいない場合  ① 0.5mSv/h以上の放射線が検出される区域 ② 火災発生時に放射性物質の飛散が認められる又は予想される区域 ③ 煙、流水等で汚染が認められ又は予想される区域

## 原子力施設の事故時の消防活動(イメージ)

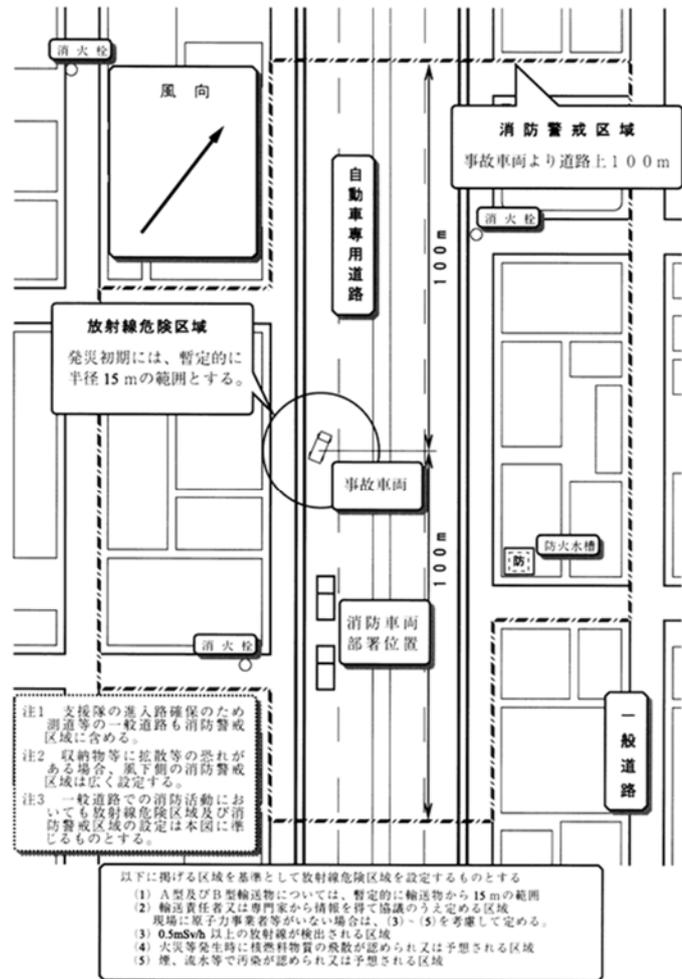
※施設関係者の情報を得て協議した場合



## 輸送事故時の消防活動(イメージ)

※ 暫定措置を行った場合のイメージ図

※ 汚染のおそれがある場合は、準危険区域を設定する。



## ○「現場に施設関係者がいない場合」について区域設定の具体化イメージ(案)

### 1. 進入統制ラインの設定について

進入統制ラインとは、初動時において活動隊員や要救助者の出入りを統制し、汚染拡大を防止するために設定する。



放射性物質による汚染が疑われる場所の境界(空間線量率の測定値がバックグラウンドの測定値を超えた場合等)、進入統制ラインを設定する。

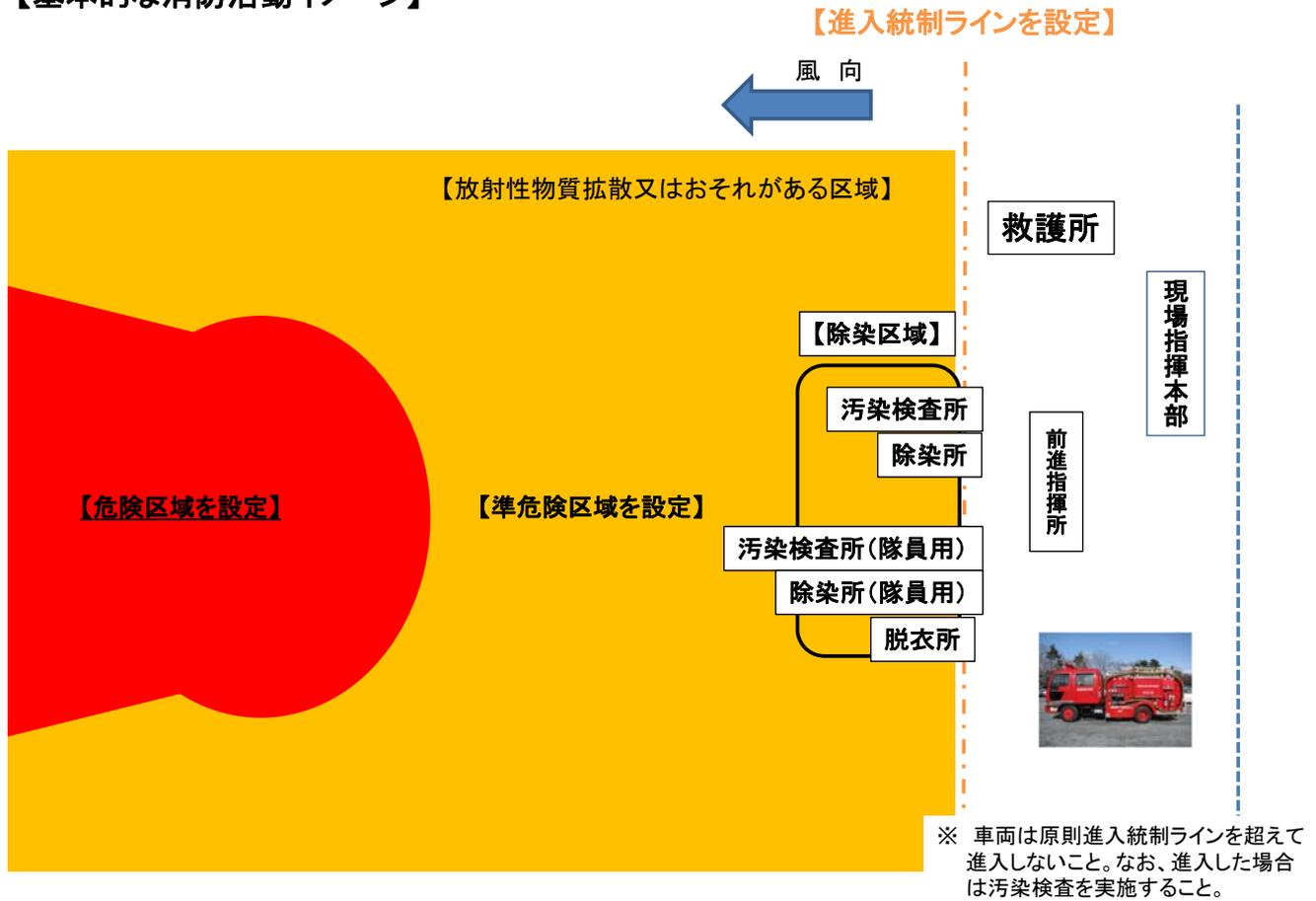
進入統制ラインの内側に進入する時は、隊員は装備を切替え、汚染検査により管理する。また、進入統制ラインから外側へ避難してくる公衆についても、汚染検査の対象とすることで汚染拡大を管理する。

#### 【留意点】

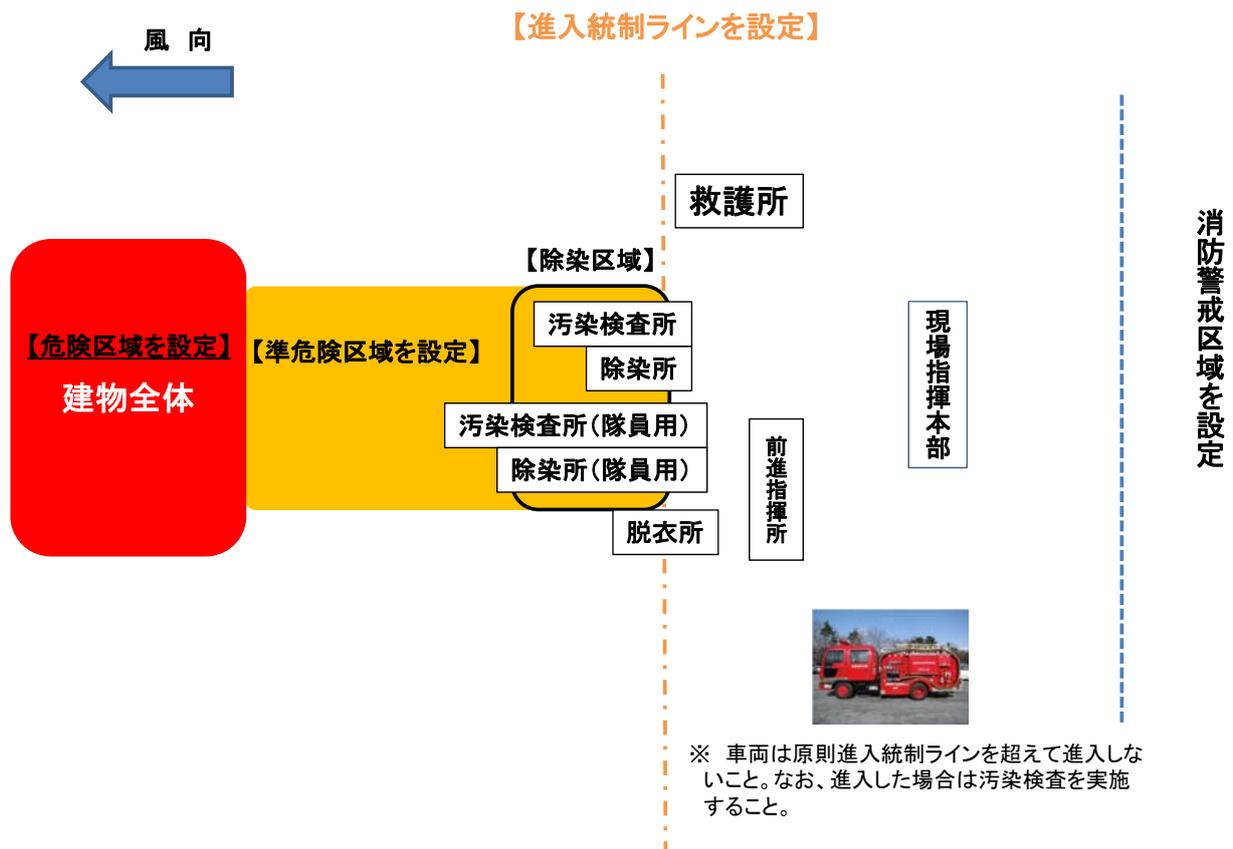
※ α線又はβ線を放射する放射性物質が飛散している可能性がある場合、γ線用の空間線量率計では測定できない。

※ バックグラウンドについては、各地域によって測定値が異なる(晴天時、雨天時でも異なる)ため、様々な気象条件のもと各地域で把握しておくことが望ましい。

## 【基本的な消防活動イメージ】

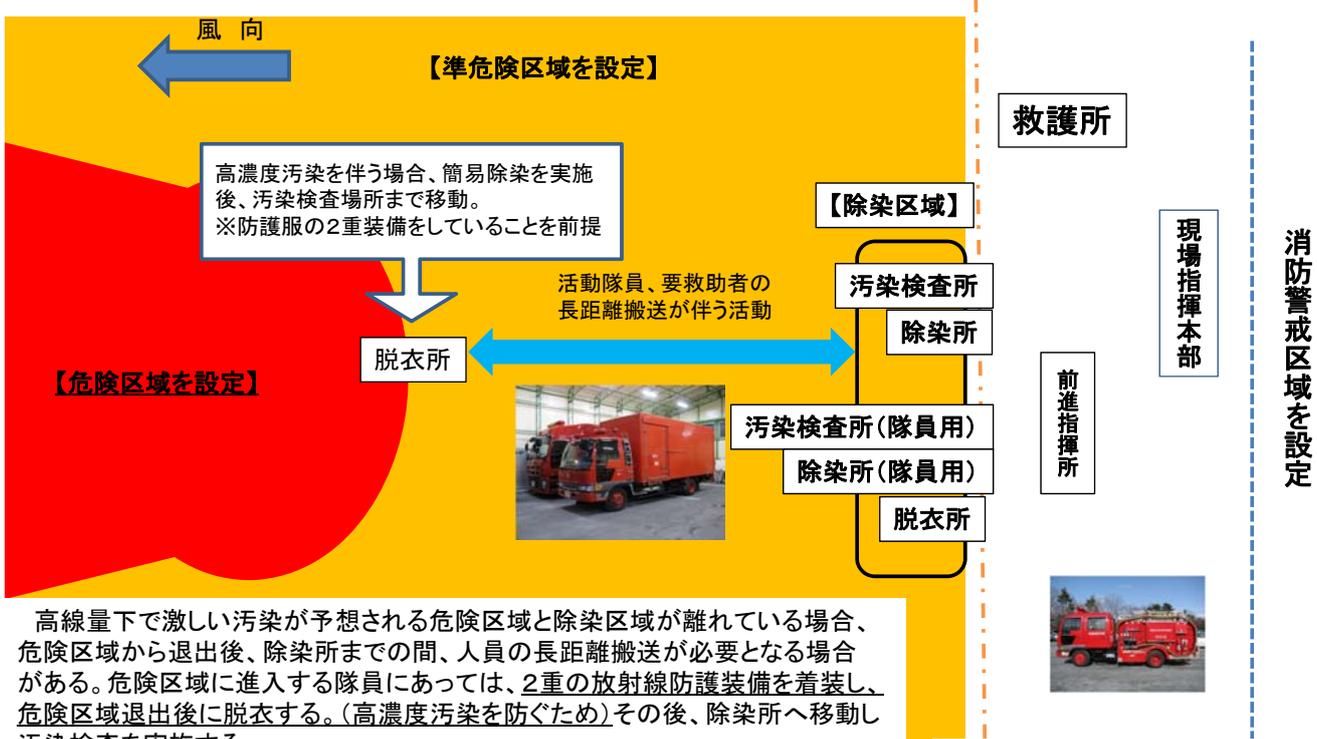


## 【屋内で発生した事故の場合】



# 【屋外又で広範囲に及ぶ事故の場合】

## 【進入統制ラインを設定】



高線量下で激しい汚染が予想される危険区域と除染区域が離れている場合、危険区域から退出後、除染所までの間、人員の長距離搬送が必要となる場合がある。危険区域に進入する隊員にとっては、2重の放射線防護装備を着装し、危険区域退出後に脱衣する。(高濃度汚染を防ぐため)その後、除染所へ移動し汚染検査を実施する。

要救助者及び避難者の搬送についても同様な措置(脱衣による除染)を実施し搬送する。人員、活動資機材の搬送等で使用した車両については、準危険区域内に待機させる若しくは汚染検査を実施し、専門家等の助言によって示された測定値まで除染を行うこと。

※ 車両は原則進入統制ラインを超えて進入しないこと。なお、進入した場合は汚染検査を実施すること。



## 区域設定及び安全管理の指標について（素案）

1. 現場に施設関係者がいない場合の放射線危険区域として勘案する線量について、IAEA等の動向を踏まえ、「 $100\mu\text{Sv/h}$ 以上の放射線が検出される区域」としてはどうか。（現行： $0.5\text{mSv/h}$ ）
2. より高い空間線量率の環境における活動に対する配慮として、IAEA等の動向を踏まえ、 $100\text{mSv/h}$ を上回る場合の特別な配慮について追記してはどうか。

- ・人命救助活動のみを行う。
- ・その区域に滞在する合計時間を30分未満に制限する。

3. 汚染検査や除染を行う場所の指標として、「空間線量率がバックグラウンドレベルの場所」とすることを追記してはどうか。

（現行：活動終了時又は放射線危険区域から退域する際、準危険区域の内側で汚染検査を行う。施設の汚染検査室に災害の影響がない場合は汚染検査室で行う。）

4. 除染を行う場合の程度について、基本的には各事案において放射線管理員や医師等の指示で実施されることになると考えられるが、目安として参考の数値を記載してはどうか。

### 【原子力災害対策指針】（原子力災害時のスクリーニング）

体表面スクリーニング・除染を要する基準（O I L 4）

- ・事故直後  $40,000\text{cpm}$  ( $120\text{Bq/cm}^2$ )  $\beta$ 線
- ・1ヶ月後  $13,000\text{cpm}$  ( $40\text{Bq/cm}^2$ )  $\beta$ 線

### 【電離放射線障害防止規則】（通常時の放射線管理区域の汚染検査基準）

表面汚染に関する限度

- ・アルファ線を放出しない放射性同位元素  $4\text{Bq/cm}^2$  ( $1,300\text{cpm}$ )